

研修プログラム

◆基調講演（場所：山口県教育会館 1階 ホール 定員 500人）

「お互いの支えあいで作る助け合いの地域づくり」
～誰もが安心して暮らせる地域を作り出していくための方法～

講師：同志社大学 社会学部 社会福祉学科 准教授 永田 祐 氏

《目的》

少子高齢化社会や単身世帯の増加等によって、福祉施策が充実していく一方で、地域における自然な助け合いが失われ、孤立死や引きこもり等、制度だけでは対応できない地域の課題が増加しています。

そうした中、社協職員や専門職だけでなく、住民の方々にも『他人事』になりがちな地域の課題を『我が事』として関心を持ってもらい、協働しながら住民主体による地域づくりを進めていくことが必要とされています。そこで、全国での先進的な事例等をふまえながら、住民主体の地域活動の必要性や今後の地域づくりの方向性についてお話しさせていただきます。

《講師プロフィール》

同志社大学 社会学部 社会福祉学科 准教授 永田 祐（ながた ゆう）氏

●略歴

上智大学文学部社会福祉学科卒業。慶應義塾大学政策・メディア研究科修士課程修了。上智大学文学研究科社会学専攻博士後期課程修了。博士（社会福祉学）。日本学術振興会特別研究員、立教大学コミュニティ福祉学部助手、愛知淑徳大学医療福祉学部専任講師を経て現職。英国ブリストル大学客員研究員（2013年3月～2014年3月）。社会福祉士として成年後見活動も行っている。



●各種委員

厚生労働省 地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会、大阪府地域福祉推進審議会、大阪府後見支援センター、中央共同募金課企画推進委員会、いくつかの県・市町の地域福祉支援計画等の委員・アドバイザー等を務める。

●専門

介護保険などの社会福祉政策及び市町村を中心とした地域社会政策、地域福祉。

●主な著書

- ・『ボランティアコーディネーターの実践 地域福祉を拓く』（編著）久美出版 2007年。
- ・『地域福祉論 地域福祉の理論と方法』（共著）全国社会福祉協議会、2009年。
- ・『住民と創る地域包括ケア』（単著）ミネルヴァ書房、2013年。
- ・『地域の実践を変える社会福祉調査入門』（編著）春秋社、2013年。
- ・『よくわかる権利擁護と成年後見制度』（編著）ミネルヴァ書房、2016年。他

▽実践報告

「将来の自分達が求める地域へ」

～住民主体の助け合い活動による、つながりあう地域づくり～

実践報告者：安岡町自治会（下関市） 福祉委員会委員長 浅野 勝則 氏
北迫新町やすらぎ会（宇部市） 会長 田中 孝雄 氏
地区社会福祉協議会 ※調整中

コーディネーター：山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 草平 武志 氏
コメンテーター：同志社大学 社会学部 社会福祉学科 准教授 永田 祐 氏

人口減少や超高齢社会を迎え、高齢者や子育て世帯、障害のある方などが、地域で安心して暮らせる社会を構築するために、地域住民が主体的に地域課題と向き合い、解決に取り組む活動が重要視されており、地域の特性を生かした様々な助け合い活動が展開されています。

そこで今回は、自治会や町内会、地区社協等の小地域で、『我が事』として様々な形での助け合い活動を実施している地域の方々に実践報告をいただき、小地域での助け合い活動がどのようにして、住民主体の地域づくりに繋がっているのかについて会場の皆さんと共に考えます。

＜実践報告＞

①5年10年先を見据えて～継続してみんなで地域づくりをするために～

報告者：安岡町自治会（下関市） 福祉委員会委員長 浅野 勝則 氏

安岡町自治会では、誰かのためにではなく、5年、10年先を見据えて、将来の自分達のためというスタンスで活動をされています。

その中で、自治会との関係が薄いとされる新しく地域に入ってきた人や若い人達にも自治会活動に参加してもらっています。

活動の継続が課題として挙げられている地域が多い中で、活動に参加してもらう人を増やす仕掛けづくりや継続した自治会活動ができる組織作りの工夫、地域の関係者との協働の在り方についてお話していただきます。

②自治会の一員としてのシニアクラブ～多団体と協働した見守り活動～

報告者：北迫新町やすらぎ会（宇部市） 会長 田中 孝雄 氏

単位老人クラブである北迫新町やすらぎ会では、見守り活動を自治会、民生委員・児童委員、福祉員等地域の福祉活動者と協働しながら行っています。

老人クラブ単独での見守り活動から、他団体や他の地域福祉活動者と協働した見守り活動を行うようになったきっかけや、活動を通じて老人クラブ活動の幅がどのように広がり、現在、自治会の福祉活動の一端をどう担っているのかについてお話をいただきます。

③

報告者：地区社会福祉協議会 ※調整中